

2022年 事業説明会

Business briefing presentation for the fiscal year ended September 2022

2022年12月21日

Circulate
the possibilities



株式会社アサカ理研

証券コード：5724

1. はじめに
2. 社是
3. 環境・社会問題
4. 事業紹介
5. 自らチャレンジする環境への転換

1. はじめに

2. 社是

3. 環境・社会問題

4. 事業紹介

5. 自らチャレンジする環境への転換



「都市鉱山」から有価金属を回収する

資源再生メーカー

- ✓ 独自の技術を用いて、電子部品スクラップ等から貴金属を回収・精錬。
- ✓ 他企業との連携を図り、「Lithium-ion Battery to Lithium-ion Battery」(LiB to LiB) の実現を目指す。

1. はじめに

2. 社是

3. 環境・社会問題

4. 事業紹介

5. 自らチャレンジする環境への転換

「豊かな創造性を発揮し、社会貢献を果たす」

社員一人ひとりが

創造性を発揮し、

事業活動を通じて、

社会的課題の解決に貢献する



持続可能なサーキュラーエコノミーを実現し、

環境・社会問題の解決へ

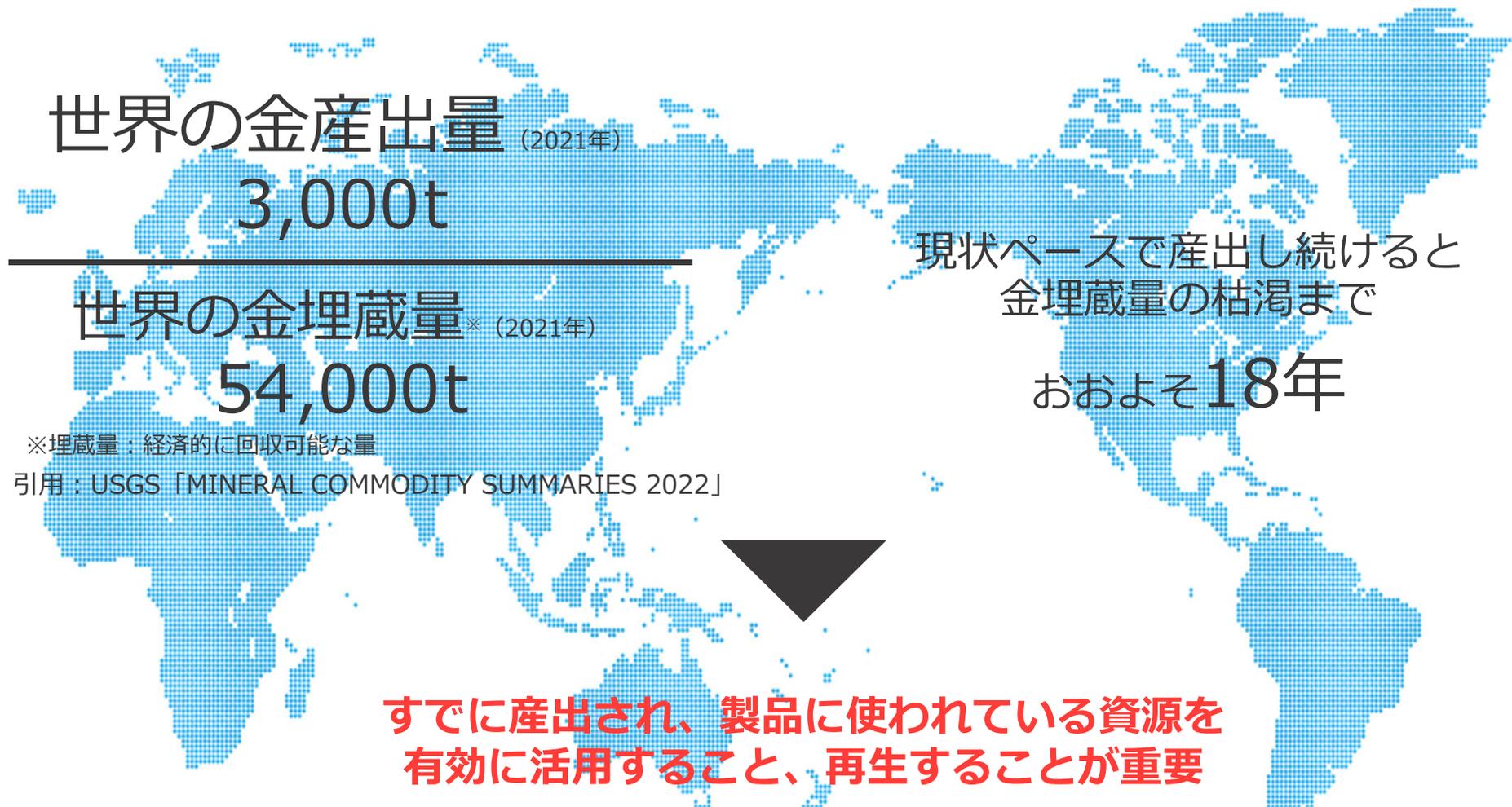
1. はじめに

2. 社是

3. 環境・社会問題

4. 事業紹介

5. 自らチャレンジする環境への転換

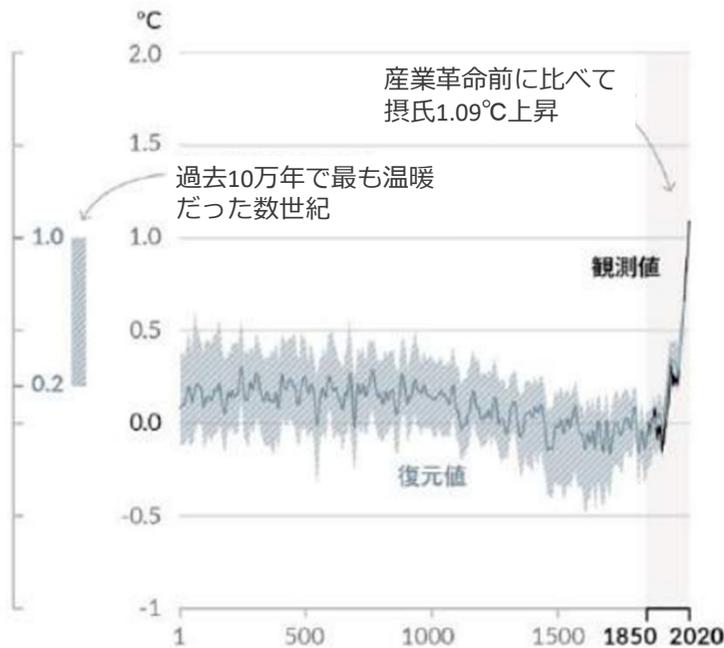


環境・社会問題② 地球温暖化



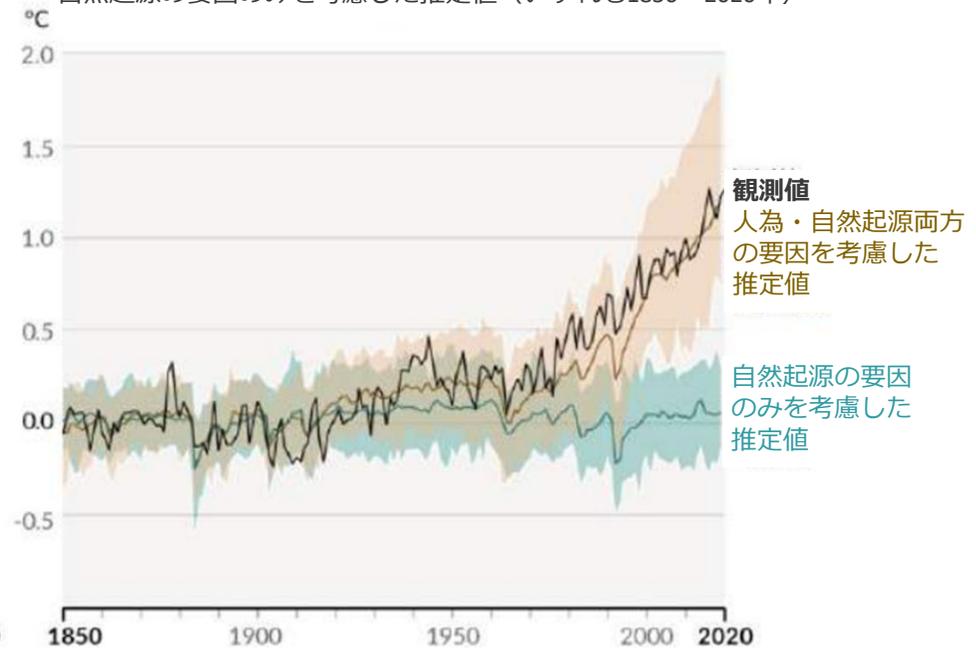
世界平均気温（10年平均）の変化

復元値（1～2000年）及び観測値（1850～2020年）



世界平均気温（年平均）の変化

観測値並びに人為・自然起源両方の要因を考慮した推定値及び
自然起源の要因のみを考慮した推定値（いずれも1850～2020年）



引用：IPCC第6次評価報告書（SPM）



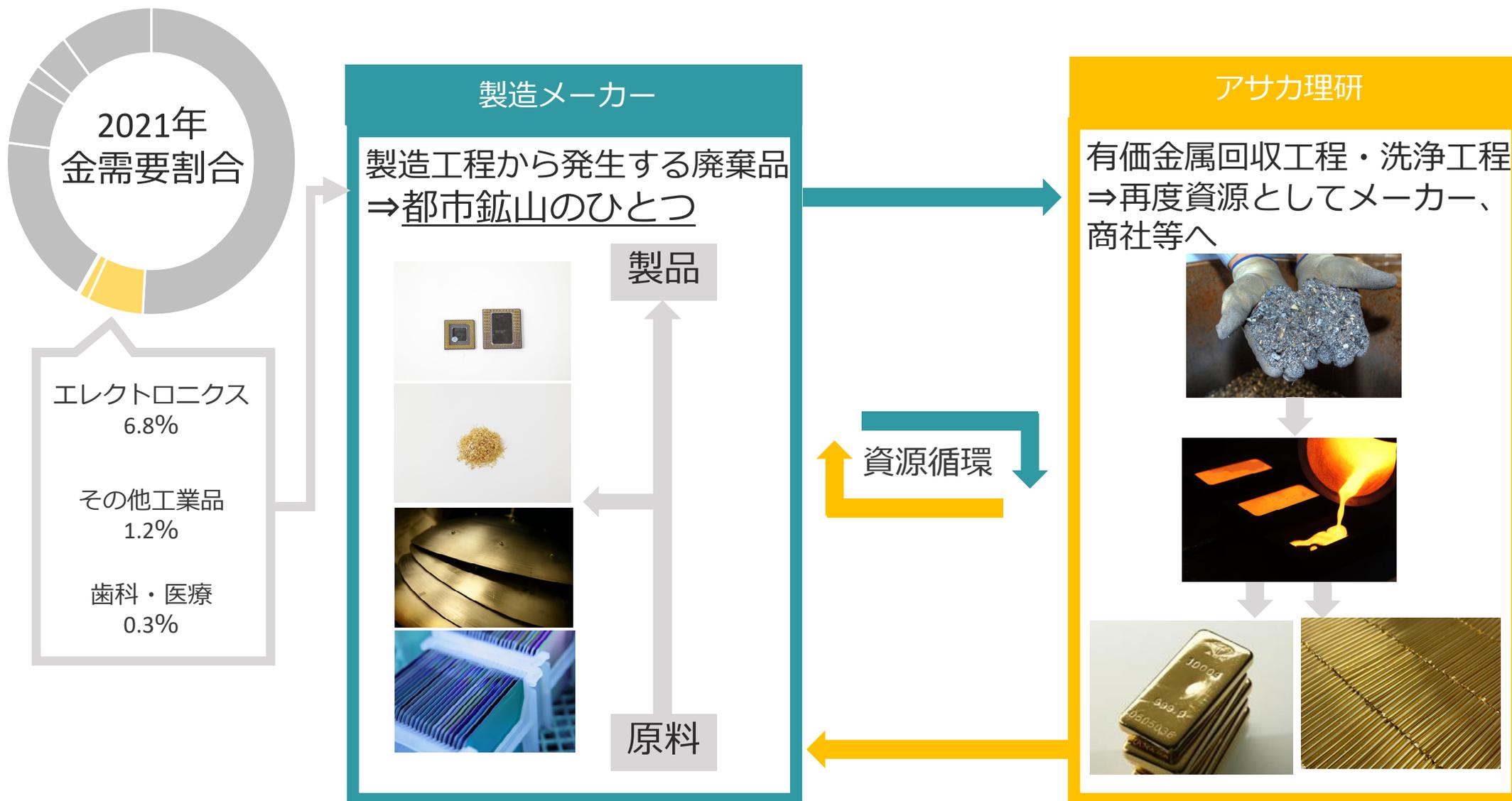
1. はじめに

2. 社是

3. 環境・社会問題

4. 事業紹介

5. 自らチャレンジする環境への転換



出所：一般社団法人 日本金地金流通協会

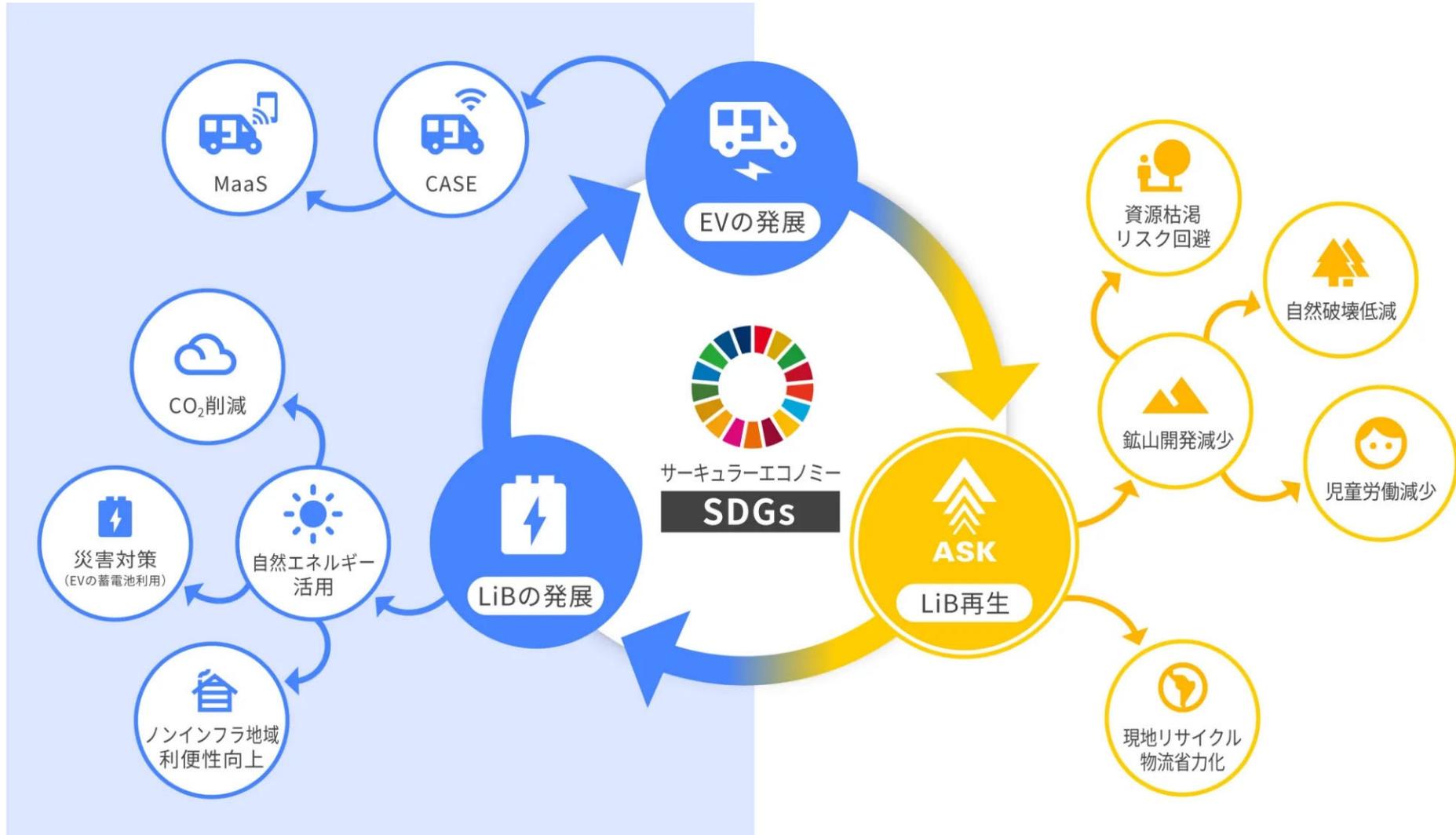
copyright@Asaka Riken Co.,Ltd.

LiB再生事業の取組み

- 2013年の参入から始まったレアメタル事業の集大成
 - 使用済みのLiBからレアメタルを回収し、LiB原料へ再生。
 - レアメタル事業で培ったレアメタル回収技術の活用。
 - 地球温暖化等の環境問題を背景としたLiB市場の拡大。
 - 環境問題解決、持続可能な開発目標（SDGs）への貢献。

- 当社の強みを生かした戦略
 - 他社に先駆けてLiB再生事業に着目。
 - 溶媒抽出法を用いた湿式処理工程。
 - 高回収を実現する独自の溶解抽出技術。

LiB再生事業② 概念図



LiB再生事業③ 各国の動向



日本、EU、アメリカ、中国のカーボンニュートラル表明状況

引用：経済産業省 資源エネルギー庁 「第2節 諸外国における脱炭素化の動向」

2030

- 東京 – 乗用車新車販売の100%を非ガソリン化※1
- アメリカ – 2030年に販売される乗用車・小型トラックの50%をZEVに※2
- 中国 – NEV販売比率を40~50%へ

2035

- 日本 – 乗用車新車販売で電動車100%に※3
- EU – HVを含むガソリン車の新車発売を原則禁止※4

EVに関する各国の政策

※1 東京都「2030年カーボンハーフに向けた取り組みの加速」

※2 ホワイトハウス「Executive Order on Strengthening American Leadership in Clean Cars and Trucks」 2021.8.5

※3 経済産業省「2035年までに乗用車新車販売で電動車100%に」

※4 ビジネス短信「欧州委、2035年までにすべての新車のゼロエミッション化提案」

LiB再生事業④ EV市場の広がりとしサイクル



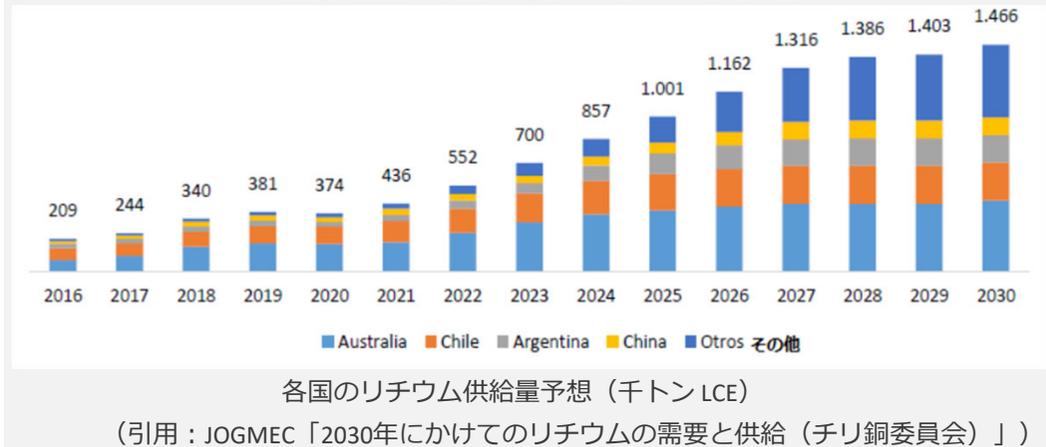
電動車の需要は今後より高まっていく
⇒車載用LiBの需要も高まる

(引用：経済産業省「蓄電池産業戦略中間とりまとめ 2022.4.22」)



世界のリチウム需要は2030年までに
179万トン/年に達する予想
⇒2020年現在の42.9万トン/年の4倍以上にもなる
(引用：COCHILCO 2020.8.27)

その一方で、2030年の供給量は
需要量に追いつかないと予想



EUでは「電池規則案」を立案
⇒「リサイクル材使用率の開示義務化」、
「特定資源 (Li, Ni, Co等) の回収率を定める」など諸規定を設ける動き

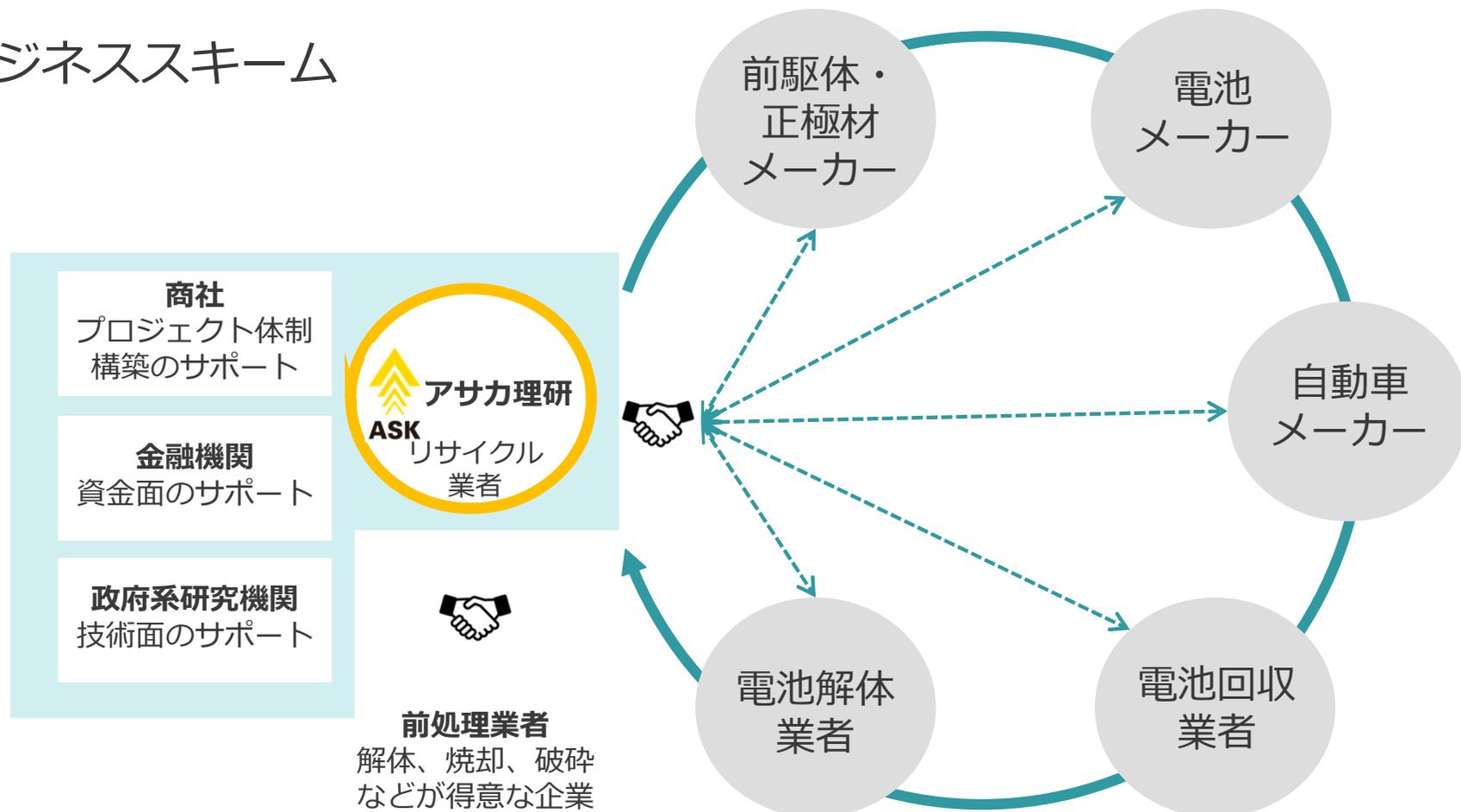
LiB生産過程における原料リサイクルの重要性が高まっている

LiB再生事業⑤ 事業スキーム

□ 「リチウムイオンバッテリー（LiB）再生事業」

⇒役目を終えたLiBスクラップから、リチウム、コバルト、ニッケルをはじめとするLiB原料の回収・再生を目指す。

□ ビジネススキーム



LiB再生事業⑥ 現在の進捗状況

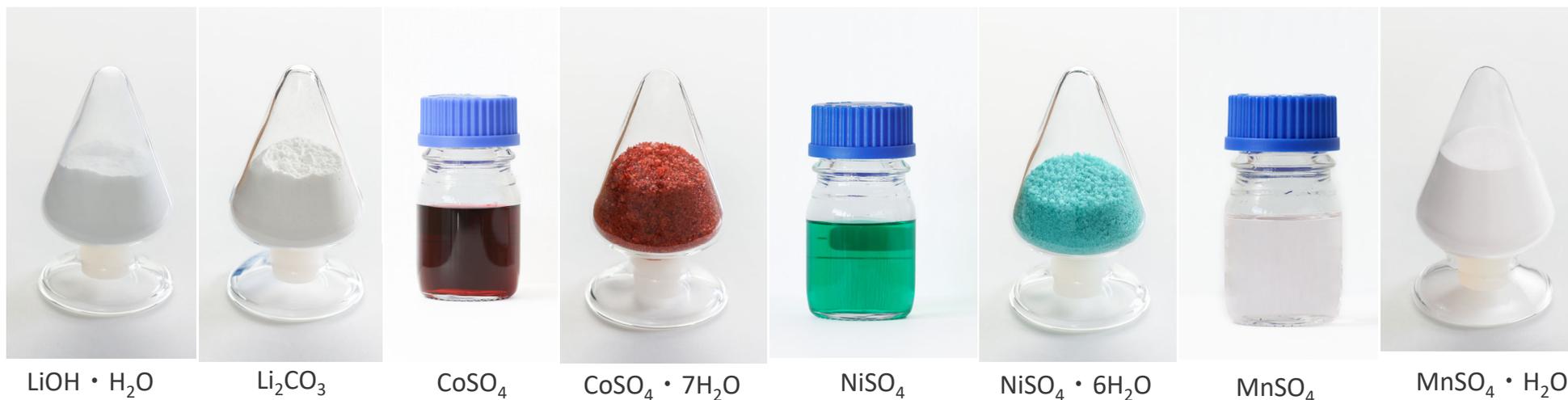


□ 開発スケジュール



□ いわき工場について 2023年中 試験生産開始

リサイクル製品一覧



LiB再生事業⑦ 追加設備投資の目的



【公表：2021年1月】
当初投資額

10億円 ・いわき工場を改修
・LiB再生事業にかかる量産プラントの導入

【公表：2022年10月】

追加投資額
12億円

今後要求されるであろう規制等に対応できる
LiBリサイクル工程とするため追加の設備を導入
⇒世界的な環境規制への対応【EU規制案】
※ CO2削減、廃棄物削減
⇒回収率目標への対応【EU規制案】
※ Co、Ni、Li、Mn

- 環境負荷低減・高回収率を実現するための追加投資
- E U規制案など世界的な動きへの対応
- 今後要求されるであろう規制等に対応した「LiB to LiB」の実現を目指す

1. はじめに

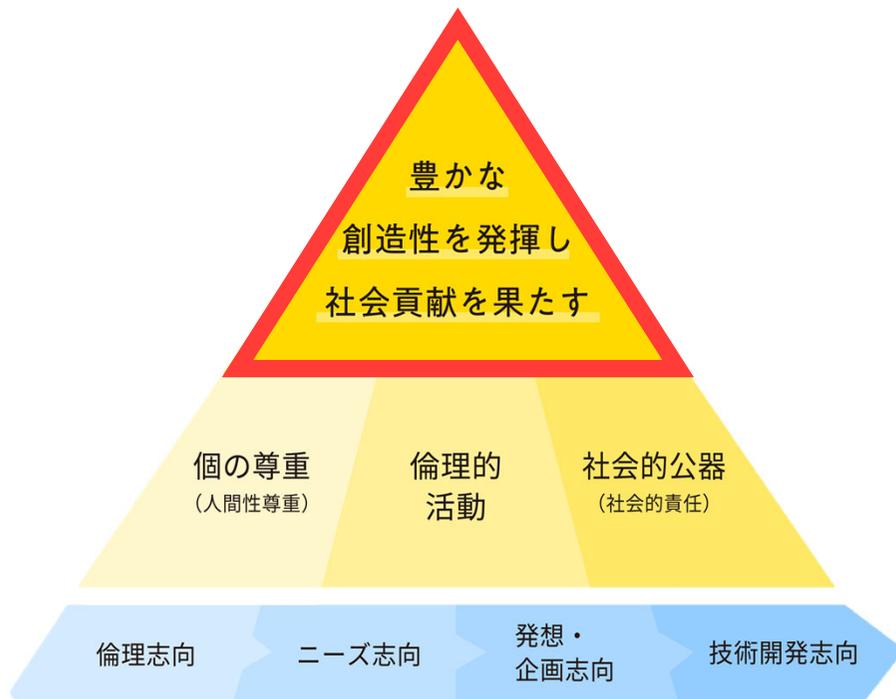
2. 社是

3. 環境・社会問題

4. 事業紹介

5. 自らチャレンジする環境への転換

自らチャレンジする環境への転換



「創造性の発揮」
▽
従業員一人ひとりの学びとチャレンジ

・社員が働きやすい環境整備
・人材育成の体制構築
⇒ **人事制度改革**の実施

人的資本への積極的な投資により
社員一人ひとりの働きがい・やりがいの向上に努める



ASK

株式会社アサカ理研

- ✓ 本書には、当社および当社グループに関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により、実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- ✓ 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められる会計原則に従って表示されています。既に行っておりまして今後の見通しに関する発表につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- ✓ 本書はいかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付の申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。